

死亡災害ゼロ・アンダー530

～2027年までに休業4日以上死傷者数530人以下を目指して～

津労働基準監督署

重点事項

1 墜落・転落災害防止対策

- ① 足場・屋根等の高所作業場所への手すり・親綱等の設置
- ② 脚立・はしごは安定した場所への設置
- ③ トラックの荷台からの災害防止
- ④ 墜落制止用器具の適切な使用

2 機械災害防止対策

- ① 刃部・駆動部への覆い設置等によるはさまれ・巻き込まれ等防止対策
- ② 稼働中に係る清掃、点検、修理作業の原則禁止
- ③ 突発事態発生時に係る安全管理体制の確立
- ④ 定常及び非定常作業での安全作業標準の作成と安全衛生教育の実施
- ⑤ 機械の点検者の指名と機械別点検表に基づく点検の実施
- ⑥ 経年施設・設備の計画的な更新と経年的劣化の点検・補修等の実施

3 フォークリフト・重機等車両との接触災害防止対策

- ① 安全通路の確保及び有効保持
- ② 立入禁止区域の設定と合図の徹底（原則として、旋回範囲・走行範囲への立入禁止）
- ③ 作業計画の作成及び周知
- ④ 作業指揮者の選任

4 転倒災害防止対策

- ① 作業通路における段差や凹凸、突起物、継ぎ目等の解消
- ② 照度の確保、手すりや滑り止めの設置
- ③ 危険箇所の「見える化」の実施
- ④ 筋力等維持のため、スポーツ等の習慣化

5 腰痛災害防止対策

「職場における腰痛予防対策指針」の推進

- ① 作業標準の策定、作業姿勢、動作及び作業時間の適正化
- ② ノーリフトケアや介護ロボットやリフト等の介護機器等の導入
- ③ 自動化や省力化による人力への負担の軽減
- ④ 始業前・休憩中の腰痛予防体操の実施

6 高年齢労働者に対する労働災害防止対策

「エイジフレンドリーガイドライン」の推進

- ① 転倒災害防止対策
- ② 身体機能を補う設備・装置の導入
- ③ 身体機能の低下を考慮した作業内容の見直し
- ④ 健康状況、体力状況の把握・対応

7 交通災害防止対策

「交通労働災害防止のためのガイドライン」の推進

- ① 交通ルールの遵守
- ② 運転時及び歩行時の安全確認の徹底

8 共通対策

- ① リスクアセスメントを実施し、結果に応じたリスク低減措置の促進
- ② 安全衛生教育の実施・災害リスクに対する安全衛生意識の向上